

済生会川内病院  
広報にじ

vol. 62

2023/03  
TAKE FREE

niji

## Contents

---

- 02 病理医という仕事
- 05 わたしのおしごと
- 06 新任 Dr.紹介 ・ちょっと教えて! ・元気のモト
- 07 信頼と連携の輪
- 08 創立75周年記念



## 病理医という仕事

ふだん病院へ行ってもなかなか接する機会の少ない病理医。実は病理医の診断によって治療方針が決定するなど、病理医のしごとはわたし達が医療を受ける臨床の現場と、非常に密接に関わっています。

今回は当院の病理診断科・部長の畠中先生にお話を伺いました。

### 病理医とは

患者さんから採取された臓器や組織、細胞を、肉眼や顕微鏡で観察し、その形態の特徴から病変を診断し、治療に必要な情報を臨床医に報告するのが病理医の仕事です。

### 病理診断科について教えてください

採取された検体を、臨床検査技師が標本（プレパラート）にし、それを病理医が顕微鏡で観察し、診断を下します。当院には、臨床検査技師3名（うち2名は細胞検査士）、補助者1名で業務を行っています。

病理医のしごとは主に3つ。

- ① 病理組織学的診断
- ② 細胞診
- ③ 病理解剖（部検）が挙げられます。

### ① 病理組織学的診断

病気には、炎症、腫瘍、循環障害、免疫異常、代謝障害、染色体・遺伝子異常など、様々なものがありますが、多くの病気ですの病気特有の組織、細胞の形の変化が現れます。病理組織学的診断は、病変部（病気の部分）から採取した組織の形を直接観察することで診断していきます。

もう少し詳しく聞いてみたい

採取した組織からパラフィン



畠中 真吾

Shingo Hatanaka

病理診断科 部長

医学博士

日本病理学会 専門医・病理専門医研修指導医

日本臨床細胞学会 専門医・教育研修指導医

ブロックを作製します。これを薄く切り（薄切）染色して標本を作り、顕微鏡で観察することによって診断します。これにより、悪性腫瘍か良性の病変か、悪性腫瘍ならどのような種類で、どの程度悪い性格をもっているかを判定します。また手術で摘出された臓器では、病気の拡がりや転移の有無などを観察していきます。このように、病変を直接観察し診断する病理組織学的診断は、最終診断と言われ、治療方針の決定に重要な役割を果たします。



手術での切除材料は病理医が入念に切り出します

また手術中に提出された検体を凍結後に薄切し、リンパ節への転移の有無や、断端への腫瘍浸潤の有無を観察し、判定するのが術中迅速診断です。20〜30分程度で判定し、直ちに執刀医に伝えられます。手術前に診断が確定できなかった場合や、病変の範囲が分かりにくく、術中に切除範囲を決定したい場合など、転移の有無を知りたい場合などに行われます。

当科は比較的小さな部署ですが、抗原抗体反応を用いた免疫組織化学染色を積極的に行い、より精度の高い診断を行うよう

**手術中に病理診断を行うことも**



マイクロ単位の精密さで薄切

心がけています。この免疫組織化学染色は、近年行われている患者さま個別の治療の選択にも役立つています。



染色機で染色開始！

**② 細胞診**

細胞診は、日本臨床細胞学会認定の細胞検査士と協力して行っています。組織学的診断同様、採取検体を染色後、細胞の形、配列等を顕微鏡で直接観察しますが、検体の採取が比較的容易であり、検診などに広く用いられています。また尿、喀痰、胸水、腹水などの液状の

検体では、病理組織標本が作りにくいいため、大変有用です。さらに病変部を直接穿刺して得られた検体を用いて行う、穿刺吸引細胞診は診断的意義が高く、細胞診の重要性は、増々大きくなつていくと考えています。

**③ 病理解剖(部検)**

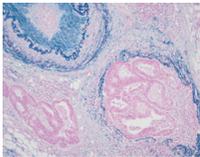
不幸にして病気で亡くなられた方のご遺体を解剖し、各臓器を肉眼的、顕微鏡的に観察することで、死因の解明、病気の全身に及ぼした影響を把握し、生前の治療の適否、効果の判定を行います。今後の医療に役立てていきます。

**これからの病理診断科**

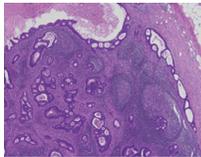
これまでがんの治療は、がんの発生した臓器や組織型、病変の拡がりの程度などに基つき、手術、化学療法、放射線治療などが選択されてきました。しかし近年、個々のがんの遺伝子の変化（遺伝子変異）を知ることにより、患者様個別の

治療が行われるようになってきました。がんの遺伝子変異を調べる検査では、病理診断で用いられたパラフィンブロックを用いることが多く、適正な標本を作ることがこれまで以上に大切になってきています。そのため、病理部門のスタッフ一同、より良い標本を作製し、遺伝子検査に対応できるよう心がけています。

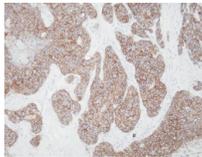
また皆さんご承知の通り、近年の医療の進歩には目覚ましいものがあり、診療科や職種の垣根を越えたチーム医療は、益々重要となつていきます。これからも院内各科との連携を一層深め、臨床現場に即したより良い病理診断を行うよう心がけて行きたいと思つていきます。また川薩地区唯一の病理診断科ですので、院外の先生方からの要求にもできるだけお応えしたいと考えています。必要な時はぜひご相談頂きたいと思つています。



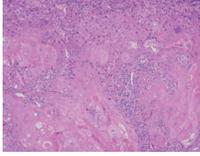
ヒクトリアブルー染色(大腸癌の静脈侵襲)



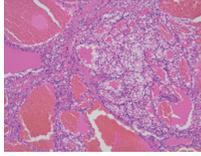
リンパ節転移(大腸癌)



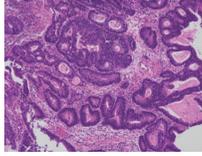
免疫組織化学染色(乳腺, HER2)



扁平上皮癌(皮膚)



淡明型腎細胞癌(腎)



腺癌(大腸)



出来上がった標本を注意深く観察します

さてここからは先生のプライベートについて少しお話をお伺いしたいと思います。  
**まず先生が病理医を  
目指した理由、きっかけは  
何だったのでしょうか？**

自慢できるような話ではないのですが、何とか研修医になり働き始めた頃、自分の知識のなさに愕然とし、「病気のことをもう一度勉強し直さなければ大変なことになる」と悩んでいました。その時、「病気のことを基本から勉強するなら病理学かな?」と考え、当時の鹿児島大学病理学第一講座で病理学を勉強し始めました。その後、県立大島病院に病理医として着任し、そこで臨床の先生方や、病理スタッフと一緒に仕事することの楽しさを感じ、現在に至っています。

**リフレッシュのために  
何かされていることは  
ありますか？**

あまり特別なことはしてい

ませんが、家に帰ってからの家族との会話と、食後のアイスが一番のリフレッシュになっていると思います。



パナラやチョコ、ソーダ味など、その日の気分で選んでいます

いっどこでお会いしてもきちんと挨拶、丁寧に対応される畠中先生。今回のインタビュでは、研修医時代の意外な悩みも明かされましたが、その当時から「医師というしごと」に真摯に取り組んで来られたのだと実感しました。読者の皆さまにも「病理医のしごと」を、少し身近に感じて頂けたのではないのでしょうか。

# わたしのおしごと

臨床工学技士

仮屋 章敏

院内の様々なお仕事についてご紹介するコーナー。第六回は、臨床工学技士・仮屋さんです。



仮屋 章敏

多趣味で雑多人間。  
スニーカーが大好き  
です！念願の日本D  
MAT隊員になれま  
した！

あなたの仕事内容について教えてください。

臨床工学技士が制定されたのは1987年と比較的新しい医療職種です。略称でMEもしくはCEと呼ばれます。臨床工学技士法では、「医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者」と定義されており、我々の仕事内容を分かりやすく表現すると、「安全に整備した装置を駆使し、患者様のいのちを守るお仕事」です。詳しい業務内容に関しては当院ホームページのME室のページをご覧ください。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

生命維持管理装置を扱う場面は緊迫した状況が多く、素早い装着、適切な設定判断を求められます。モニター値から適切に患者様の状態を読み解く力、機器に関する知識だけでなく、医学に関する勉強も欠かせません。

機器点検の際は、見て・触って・聴いて・

嗅いでの四感を駆使し、普段気付かない異音・異臭・故障に気づくことも大切です。誰しも自分の体に繋がれた医療機器を操作されると、不安や恐怖を感じて当然だと思います。重症度が高く、意思の疎通が困難な状態の患者様であっても、声をかけながら一つの作業を行い、不安を取り除くよう心がけています。

仕事にやりがいを感じるのにはどんな時ですか？

近年、医師の業務負担軽減を目的に、タスクシフトの動きが全国各地で活発化し、CE・MEは様々な医療分野で活躍できる職種となりました。現場需要が高い事はもちろん、更なる業務拡大に積極的に参画できます。自らの手で生命維持管理装置を操作し、いのちを繋ぎ、患者様が元氣な笑顔を見せてくれた時は非常にやりがいを感じます。

今後の目標と、最後に読者の皆様へメッセージをお願いします。

現在、消化器内視鏡技師の資格取得を目指しております。内視鏡技師として認定されることで、より質の高い治療を皆さまに提供していきたいと考えております。この「niji」を通して、臨床工学技士について少しでも興味を持って頂ければ幸いです。これからも地域医療、全国の災害医療に尽力して参ります。

# 新任Dr.紹介

趣味/特技  
カフェ巡り  
温泉

ほりのうち もえり  
堀ノ内 萌里

研修医



研修医1年目の堀ノ内です。薩摩川内市出身で、地元で研修医として戻ってこれて嬉しく思っています。3ヶ月間よろしくお願ひ致します。

趣味/特技  
おいしいものを  
食べること  
おしゃべり

ゆみさし りほ  
弓指 里萌

産婦人科



はじめまして!!産婦人科の弓指と申します。鹿児島生まれ鹿児島育ちの、生粋の鹿児島県民です。皆さんが元気になる手助けができるよう、精一杯頑張ります。見かけたら気軽に話しかけて下さい!!



診断書作成依頼書	
患者氏名	性別
氏名	性別
生年月日	年齢
住所	〒
電話番号	
職業	
依頼者氏名	関係
依頼者住所	〒
依頼者電話番号	
依頼者職業	
依頼者印	
医師氏名	関係
医師住所	〒
医師電話番号	
医師職業	
医師印	

診断書作成依頼書  
見本

- ・入院に関する診断書・証明書は退院日以降の依頼となります。
- ・傷病手当金支給申請書は「労務不能と認めた期間」を過ぎてからの依頼となります。
- ・原則、料金は前払いです。

## 注意事項

・A...1階・受付までお越しください。(外来・病棟でのお預かりはしておりません)  
 ・「診断書作成依頼書」に必要事項をご記入の上、所定の用紙(保険会社等の指定用紙)を添えてお申し込み頂きます。(病院所定の診断書は除く)



ちよっと

教えて!

Q  
診断書や証明書はどこへ頼めばいいですか?



泌尿器科  
斎藤先生

私の元気のモトは、カレーです。味も良く忙しい時でもすぐに食べられるので、助かっています。写真は市販のものです。



消化器内科  
市田先生

コーヒーです。休みの日は、コーヒーを買って、子供と公園で遊んでリフレッシュします。

スタッフの笑顔と元気を支える一品をご紹介しますコーナー! 第八回は市田先生と斎藤先生です。

わたしの  
元気  
のモト

# 信頼と連携の輪

地域医療を支える連携医療機関をご紹介します。



## 伊達病院

当医院は地域密着型の医院として、川内市神田町の地に伊達外科として開業その後、昭和57年に伊達病院となり、はや40年が過ぎました。現在も切れ目のない医療、介護を目指し自宅、施設復帰を目指しこれからも診療していきたいと思っております。当院では入院施設（一般病棟、療養病棟）はもちろん、通所リハビリテーション、関連施設として特別養護老人ホーム福和園もあります。リハビリにも力を入れ理学療法士、作業療法士、鍼灸師等スタッフも充実しています。入院等相談等ございましたら入退院調整の社会福祉士が常駐しており他、医療機関、施設と連携をとっています。



### 伊達病院

TEL : 0996-23-7171  
〒 895-0052 鹿児島県薩摩川内市神田町 4 番 25 号  
<https://hpdate.wixsite.com/hpdate>  
■ 診療科目 内科・外科・整形外科・胃腸内科  
■ 診療時間  
月曜日～土曜日 9:00～12:00  
14:00～18:00  
■ 休診日 日曜日・祝祭日



院長  
土持 雅昭 先生

## 森田内科医院

今年で34年目を迎える内科・血液透析・消化器内科を専門とする医院です。一番身近なかかりつけ医として、患者さんの状態をしっかりと把握し、寄り添える医療心がけています。

健康診断、風邪、生活習慣病を中心とした内科疾患から、慢性腎臓病、特に慢性維持透析の管理に力を入れています。また消化器専門医の常勤に伴い、内視鏡室を新設し、消化器疾患の診療にも尽力しております。丁寧且つ精度も高い検査で、患者さんにとって疼痛や不快感が少ないことを重視しています。

診療連携・病診連携の体制を整え、患者さんに必要で安心な医療を提供できるように努めています。

●地域の交通事情や高齢化に伴う通院困難な透析患者さんのニーズに応えるため、送迎を行っています。

●健康管理に役立ててもらうために、管理栄養士による栄養指導を行っています。

●鍼灸・マッサージ師によるマッサージのサービスを行っています。



### 森田内科医院

TEL : 0996-22-0559  
〒 895-0076 薩摩川内市大小路 2191  
■ 診療科目 内科・消化器内科・血液透析  
■ 診療時間  
【平日】 〈午前〉 9:00～12:30  
〈午後〉 14:00～17:30  
【木・土曜】 〈午前〉 9:00～12:30  
■ 休診日 日曜・祝日



院長  
森田 隆久 先生



# 創立 75 周年

感謝を込めてこれからも地域と共に

昭和23年11月、当院は共同募金の支援により、川薩地域の公的医療機関として、大小路町（現在の川内看護専門学校付近）に開設されました。当時は内科・小児科1床の診療所で、医師1名、看護師1名での船出でした。その後、幾多の困難を乗り越えつつ、市の復興と共に発展し、本年で創立75周年を迎えます。そこで開設当初からの歩みを、市の歴史と共に写真で振り返りたいと思います。

## 〈 昭和 20-30 年代 診療所時代 〉

### 昭和20年 米軍による市街地爆撃の撮影記録 (向田方面)

昭和20年3月18日に始まった米軍による本市への空襲は、6月から8月にかけて、更に激しいものとなった。川内駅に百キロ爆弾が投下



されるなど、主な交通機関や工場、公共施設等が破壊され、市街地は一面焼け野原と化した。

### 昭和30年代 診療所時代



診療所時代の最も古い写真であろう1枚。数名の男女が診療所の看板を背に立ち、こちらを見ている。土手に腰掛けそれを

見上げている、どてら姿の男性が印象的である。

### 昭和32年3月 呼吸器科を増設(病床18床) 旧建物を増改造して木造一部2階建てを増築

向田新道通り(国道3号線)の拡幅工事(昭和25年頃)や、第5代太平橋の架け替え工事(昭和26年)が行われるなど、戦後の復興期に



あったこの時代。診療所の玄関前では、白衣を着た男性がバイクに乗っている。また、見えにくいですが、各窓からは看護師らしき女性達が顔をのぞかせている。

### 昭和30年代頃 池上院長 (昭和26年～昭和40年)とスタッフ達



積まれた材木の上に腰掛け微笑む、池上院長とスタッフの貴重な一枚。材木は当時行われていた増改築用の資材だろう

か。戦後の復興途上にあり、また当院の拡張工事計画に対し反対運動が起こるなど、苦しい局面も迎えた時代ではあったが、写真に映る表情は穏やかで、おらかな雰囲気にも包まれている。

【出典】川内市制五十周年記念「写真で見る昭和の川内市」編集：川内市歴史資料館 発行：鹿児島県川内市 平成2年2月11日  
【参考資料】「川内市史(下巻)」編さん者：川内郷土史編さん委員会 発行：鹿児島県川内市 発行：昭和55年3月20日  
「目で見る川内・薩摩郡の100年」発行人：神津良子 発行所：(株)郷土出版社 発行：平成16年5月20日

niji 済生会川内病院広報誌  
第62号 2023年3月1日発行



社会福祉法人  
恩賜財団 済生会川内病院

nijiへの  
ご意見・ご感想を  
お寄せ下さい



〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号 TEL (0996) 23-5221 FAX (0996) 23-9797  
<https://www.saiseikai-sendai.jp> mail : [info@saiseikai-sendai.jp](mailto:info@saiseikai-sendai.jp)